

令和4年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	令和4年12月28日（水）9時20分～10時00分
出席者	市長、副市長、市長室長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局財務課長、経済観光局長、経済観光局担当局長、経済観光局副局長、経済観光局担当部長
議 題	ポストコロナを見据えた神戸経済の活性化施策・高齢者就労支援事業
提案概要	<p>《ポストコロナを見据えた神戸経済の活性化施策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学との連携により、経済学的知見を活かした政策立案を行う。 ・ 中小企業の経営基盤強化を図るため、デジタル化・DXの導入支援や、外国人材活用に向けた支援を行う。 ・ 市内産堆肥をペレット化し、利用・流通を拡大することで、化学肥料の利用量低減と土壌改良を推進する。また、圃場の土壌診断、作物の生育状況を把握できるシステム（営農アプリ）の導入により、持続可能な農業生産体系への転換を図る。 ・ 市内産飼料（稲わら・牧草）の生産拡大により、外国産からの転換を図ることで、畜産農家の経営安定につなげる。 ・ SDGs 関連商品の海外販路開拓、販売力強化を支援する。 <p>《高齢者就労支援事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「気軽」で「身近な」ライフキャリア相談の体制構築、リスク講座、職業紹介・マッチング、定着支援の4つの事業により、高齢者の就労をトータルにサポートする。 ・ 人手不足業界を中心とした企業と連携し、仕事体験イベントを実施する。また、高齢者就業率の低い市西部地域等で就業面接会を開催し、潜在的意欲をもつ高齢者層を就労へと結び付ける。 ・ 職住近接を望む層に向けて、高齢者が担う業務を開拓・受注する事業者と連携し、シニア向けのワークスペースを開設する。 ・ 高齢者等に対し、休耕田を活用した給食用食材の生産に必要な研修を実施することで、給食食材の将来の生産者として育成するとともに、休耕田の再生につなげる。

<p>会議結果 (主な意見 等を含む)</p>	<p>全体の方向性については了。</p> <p>中小企業の成長投資や市内資源の有効活用など、域内経済の力強い成長を後押しするとともに、海外市場への販路開拓・拡大など、域外からの外貨の獲得に向けた取り組みについて、局の提案をもとに議論した。</p> <p>また、働く意欲のある高齢者が収入を得る機会を創出するとともに、高齢者の経験・労働力を活用することで、神戸経済の活性化や社会課題の解決を図ることを議論した。</p> <ul style="list-style-type: none">・大学との連携による政策立案は、企画調整局が有する大学連携の仕組みも活用して実施したい。・市内企業の外国人材の雇用については、公共の支援すべき範囲を慎重に見極めていく。・耕作放棄地の拡大を抑制するため、飼料の域内生産支援や休耕田再生事業なども組み合わせた取り組みを検討していく。
---------------------------------	--